



オリーブ 便り Olive News

2017.06.01 No. 396

 香川大学 医学部附属病院 香川県木田郡三木町池戸1750-1 発行人/病院長 横見瀬 裕保

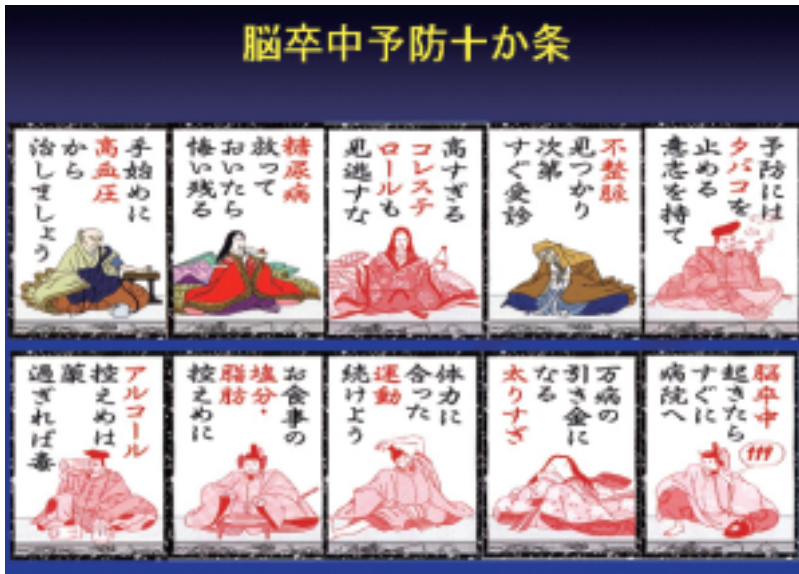
病院エントランス改修について～“心やわらかく 屋外広場”が誕生します～

再開発推進室

平成30年度末の病院再開発整備事業完了にあわせ、病院エントランス周辺が大きくリニューアルされます。エントランス前に現在ある庭、池と泉を整地し、コンビニエンスストア、喫茶棟前に広いオープンスペースを設け、日よけテントやベンチを整備し、このエリアを患者さんや来院の方々がゆっくりくつろげる空間とするように計画を進めています。また、ロータリーを改修し、現在よりも多くのタクシーや一般車両がエントランス前に停車できるようにするとともに、雨天の際でも乗降時に濡れることのないように車道側に屋根(キャノピー)を設置します。構内の車線についても安全に運転できるように改良します。

安全で快適、患者さんの療養にプラスになるように、開放感のあるエントランスを目指し改修計画を進めています。エントランス工事の際には大変ご不便をおかけいたしますが、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。





皆さんご存知のように脳卒中とは、突然に脳の血管が破れたり、詰まったりして様々な症状を呈す病気です。脳卒中は長い間、日本人の死因のトップでしたが、1970年代から減少し始め、現在は死因の第4位ですが、依然として上位を占めます。現在でも年間に約12万人が脳卒中で死亡しています。かつては脳出血が脳卒中の大半を占めましたが、近年、その割合は著しく減少し、2012年には脳梗塞が約60%を占めています。その理由として、高血圧対策の普及と、生活習慣

の変化による糖尿病や脂質異常症の増加が考えられます。また、脳卒中は、介護が必要となる原因の第1位です。特に寝たきり(要介護度5)の原因の約3割を占めます。脳卒中は起こしてしまうと重い後遺症を残し、大変なりハビリが必要となることも少なくありません。本人だけでなくご家族のためにも、脳卒中は予防がきわめて重要です。厚生労働省の研究事業によると、2010年に約29万人が脳卒中を発症し、有病者数は約310万人、要介護者数は約185万人と推計されています。人口の高齢化とともに脳卒中の患者数はさらに増え続け、ピーク時には330万人に迫ると予想されます。日本脳卒中協会では、脳卒中を予防するための注意点を川柳調にまとめた「十か条」を作成しています。この十か条をもとに、自分の体調や生活習慣を見直してみましょう。そして、薬を飲んでいる人は、自分の判断で勝手にやめてはいけません。必ず医師に相談しましょう。

さて、予防を行っていても突然脳卒中を発症してしまうことも少なくありません。ここでは、特に増加している脳梗塞に対する急性期の新しい治療について紹介します。脳梗塞は突然に脳動脈が閉塞し、血流不足によって脳細胞が壊死してしまう病態です。将来、iPS細胞の普及や脳移植が可能になれば、壊死した脳細胞の働きを回復できる時代がくるかもしれませんが、一般的には一度壊死した脳細胞はお薬等では生き返ることはありません。また、脳細胞はほとんどの酸素や栄養素を血液から供給されています。短時間の血流停止で容易に壊死に陥ってしまいます。現在、大学病院をはじめとした急性期病院で効果的な治療が得られるのは、閉塞した血管を少しでも早く再開通させて、血流を再開させて、脳梗塞(脳細胞の壊死)を起こさない、または、広がるのを防ぐ治療です。突然の顔のゆがみ、手足の運動障害、呂律困難などは脳卒中を疑う代表的な症状です。こういった症状を認めた時は、早急に専門病院を受診して下さい。脳梗塞を起こしてから(血管が閉塞してから)、4時間半以内であれば、血栓溶解剤(tPAと言う注射剤)を使用できる可能性があります。tPAが使用できた場合には、約30%の方がほとんど元通りの社会生活に復帰できると言われています。また、4時間半を超えていても閉塞した血管をカテーテルという細いチューブを使用して再開通させることが可能なこともあります。現在、この治療法は世界中の脳卒中専門家あるいはカテーテル機器開発者が最も注目している方法です。香川県でも大学病院を含む数施設で行うことができます。脳梗塞の急性期治療は時間との勝負です。一般の方も医療従事者の方々もどの施設でカテーテル治療が可能かを普段から把握しておいて下さい。香川大学では24時間態勢でほとんど全ての脳梗塞(脳卒中)治療を行っています。今後も脳卒中治療チーム一丸となって脳卒中に負けないように戦っていきます。

**四国新聞社の記事転載について、ホームページでの公開には
許諾されていないため、転載記事を除きました。**

四国新聞 2017年(平成29年)3月10日(金曜日)掲載(四国新聞に転載について許諾済み)

長期療養しながら、働きたいかたへ ハローワークに高松による出張就職相談開設

医療支援室

がん相談支援センターでは、ハローワーク高松による出張就職相談が平成28年度～実施しています。がん患者だけではなく様々な病気で長期療養を余儀なくされていらっしゃる患者様の、就労に関する悩みや不安に、専門の就職支援担当者「就職支援ナビゲーター」が、月2回（第1木曜日・第3火曜日祝日除く）対応しています。



1対1対応のため、あらかじめ予約をしていただいている方を優先していますが、予約が入っていなければ状況に応じて対応しておりますので、お気軽にお立ち寄りください。（尚、予約はがん相談支援センター又はハローワーク高松で受付けています）

臨床研究に関するご案内

医学部倫理委員会委員長
医薬品等臨床研究審査委員会委員長

香川大学医学部附属病院では、診療に伴って取得した患者さんの貴重な個人情報を含む記録や尿・血液等の検査試料、生検組織（内視鏡検査で検査のために採取した組織等）又は摘出組織等の試料が発生します。

それら記録試料等を本院は、医療機関としてだけでなく、教育研究機関として所定の目的に利用させていただきたいと思っておりますので、患者さんのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

前向き研究（研究を立案、開始してから新たに生じる事象について調査する研究）に患者さんの情報を利用する場合は、書面により患者さんの同意をいただくことといたします。後向き研究（過去の事象について調査する研究）の場合は下記URLに示しております。

利用目的の中に同意しがたいものがある場合は、1階外来ロビー内個人情報相談窓口または各診療科までお申し出ください。特段のお申し出がない場合は、上記の利用目的のために患者さんの個人情報を利用することに対して同意が得られたものとさせていただきます。

●臨床研究に関するご案内URL <http://www.med.kagawa-u.ac.jp/hosp/about/rinsyo/>

イベントカレンダー H29.6～8月 予定表

月日	時間	場所	名称及び内容	担当	連絡先
6/18 日	11:00～12:00	丸亀町レッツホール高松市丸亀町1番地1 高松丸亀町香番街東館4階	イキイキさぬき健康塾-香川大学病院と最新医療- 「たかが肺炎されど肺炎!～肺炎とどう向き合っていくか?～」	総務課	(087)891-2008
6/23 金 6/24 土	23日 9:00～ 24日 17:00～	かがわ国際会議場 サポートホール高松	第36回 日本脳神経超音波学会総会	周産期学婦人科学	(087)891-2174
7/20 木	14:00～16:00	病院2階 カンファレンスルーム	がんサロン	がん相談支援センター	(087)891-2473
7/23 日	11:00～12:00	丸亀町レッツホール高松市丸亀町1番地1 高松丸亀町香番街東館4階	イキイキさぬき健康塾-香川大学病院と最新医療- 「生活習慣病の食事の摂り方の工夫」	総務課	(087)891-2008
8/25 金 8/26 土	25日 9:00～ 26日 17:00～	サポートホール高松 他	第40回 日本母体胎児医学会学術集会	周産期学婦人科学	(087)891-2174

平成30年度 看護職員募集

看護師・助産師
50名募集

受付期間
平成29年6月1日(木)～
平成30年1月9日(火) 17時必着

お問合せ先 **087-891-2013**(総務課人事係)

試験日	応募締切日
7月1日 日	6月20日 火
8月5日 日	7月25日 火
10月14日 日	10月3日 火
12月9日 日	11月28日 火
平成30年1月20日 日	平成30年1月9日 火

編集委員会 (50音順)

荒井(検査)、石井(外来)、小野(総務)、
笹川(放射線)、白神(麻酔)、田川(管理)、
田中(看護)、藤原(病棟)、芳地(薬剤)、
横井(情報)、横山(経営)、吉野(医事)
〔委員長 横見瀬病院長〕